

---

共催シンポジウム 1 「「各地域の血液製剤の有効利用の実態と成果・これから ver.3」-皆で共有しよう！有効利用のために-

5 月 30 日（木）13：10～15：10 第 3 会場（5F コンコード B）

共催：東邦薬品株式会社

座長：関 義信（新潟大学医歯学総合病院/新潟県立がんセンター新潟病院）

田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部）

特別発言：

紀野 修一（日本赤十字社血液事業本部）

山本 圭子（厚生労働省医薬生活衛生局血液対策課課長）

○本土から距離のある離島群における有効利用への取り組みと問題点

演者：宮園 卓宜（公益財団法人慈愛会今村総合病院血液内科/輸血管理室）

○血液の有効利用における東京都立病院機構での取り組み

演者：藤田 浩（地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立墨東病院輸血科）

○新たな血液製剤のサプライチェーンは離島地域の輸血医療をどう変えるか

演者：長井 一浩（独立行政法人 国立病院機構長崎医療センター）

○大きな離島での有効利用への取り組み・成果と立ちはだかる問題点

演者：関 義信（新潟大学医歯学総合病院/新潟県立がんセンター新潟病院血液内科）

○今後われわれは如何にして有効利用を模索していったらよいのか

演者：田中 朝志（東京医科大学 八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部）

---

共催シンポジウム 2 「TTP の病態と新規治療」

5 月 31 日（金）14：00～15：40 第 2 会場（5F コンコード A）

共催：サノフィ株式会社

座長：藤村 吉博（奈良県立医科大学輸血部名誉教授）

松本 雅則（奈良県立医科大学血液内科教授）

○未定

演者：Karen Vanhoorelbeke（KU Leuven）

○未定

演者：Simon De Meyer（KU Leuven）

○動脈血栓症の病理と病態：フォンウィルブランド因子の関与

演者：山下 篤（宮崎大学病理学講座構造機能病態学分野教授）

OTTP の診断・治療とカプラシズマブについて

演者：酒井 和哉（奈良県立医科大学輸血部）

---

共催シンポジウム 3「溶血性貧血の新規治療と輸血の有効性」

5 月 31 日（金）09：00～10：50 第 3 会場（5F コンコード B）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

座長：米村 雄士（熊本県赤十字血液センター）

園木 孝志（和歌山県立医科大学血液内科）

○溶血性貧血患者に対する輸血検査の実際と輸血の効果

演者：福吉 葉子（熊本大学病院輸血細胞治療部副技師長）

○溶血性貧血の鑑別診断

演者：和田 秀穂（川崎医科大学血液内科学）

○補体制御療法がもたらした溶血性貧血治療の進歩

演者：上野志貴子（熊本大学病院輸血細胞治療部）

○TMA における新規治療と輸血療法

演者：松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部・血液内科）

---

共催シンポジウム 4「大量出血症例に対する輸血療法の現状と課題、そこから見えてくる新規血液製剤の可能性」

5 月 31 日（金）14：00～16：00 第 3 会場（5F コンコード B）

共催：日本赤十字社

座長：木田康太郎（東京慈恵会医科大学麻酔科）

平 力造（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

○海外における大量出血症例に対する新規血液製剤開発、運用の動向

演者：宮田 茂樹（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

○外傷領域における大量出血症例に対する輸血療法の現状と課題～わが国は大量出血対応に何をなすべきか？～

演者：渡部 広明（島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座）

○心臓血管外科手術における大量出血症例に対する輸血療法の現状と課題

演者：小川 覚（京都府立医科大学病院疼痛・緩和医療学教室）

○重症外傷センターにおける輸血部門の現状と課題

演者：野崎 昭人（横浜市立大学附属市民総合医療センター輸血部）

共催シンポジウム 5 「CAR-T の新展開、CAR-T 療法はどこまで進歩したか？」

5 月 31 日 (金) 16 : 10 ~ 18 : 10 第 3 会場 (5F コンコード B)

共催 : ノバルティス ファーマ株式会社

座長 : 豊嶋 崇徳 (北海道大学大学院医学研究科血液内科)

長村登紀子 (東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング輸血部/検査部)

○Tisagenlecleucel Commercial Manufacturing in Japan: 4-Year Journey

演者 : Rodrigues Margarida (NovartisPharmaAG)

○投与 100%への貢献~CAR-T 治療における細胞調製プロセス最適化の戦略

演者 : 加畑 馨 (北海道大学病院臨床研究開発センター 再生医療等推進部門)

○CAR-T 細胞治療の現在と今後の展望

演者 : 保仙 直毅 (大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学)

○CD19 CAR T cell therapie as novel approach to reset autoimmunity

演者 : Kronke Gerhard ( Charite, Universitätsmedizin Berlin, Division of Rheumatology and Clinical Immunology)

---

共催シンポジウム 6 「輸血細胞治療領域における臨床検査技師のタスクシフト・シェアについて」

6 月 1 日 (土) 14 : 00 ~ 15 : 30 第 4 会場 (5F コンコード C)

共催 : テルモ BCT 株式会社

座長 : 奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院輸血部)

井手 大輔 (近畿大学病院輸血・細胞治療センター)

○適正な輸血療法を支援するタスクシフト・シェア

演者 : 篠田 大輔 (社会医療法人製鉄記念八幡病院検査部)

○細胞採取支援に対するタスクシフト・シェア

演者 : 今泉 満明 (東海大学医学部附属病院臨床検査技術科輸血室)

○医師業務支援に対するタスクシフト・シェア

演者 : 頓宮 由芽 (藤田医科大学病院輸血部)

---